

□■ 2010年 年頭のご挨拶 ■□

(社) 情報通信設備協会 東海地方本部
地方本部長 澤田 政英

明けましておめでとうございます。
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
旧年中は、当協会の事業運営にご理解とご協力を賜り有難う御座いました。
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年、自民党から民主党へ政権交代し、3ヶ月余りが過ぎましたが、経済は、デフレスパイラルが支流から本流へなりつつあり、株価の二番底の話題がなくなり、今年も、厳しい経済状況が予測されます。

さて 私たちを取り巻く情報通信業界の動向は、固定通信網ではNGN（次世代ネットワーク）、移動体通信網ではLTE（スーパー3G）、WiMAXなどの新しいインフラへ、既存サービスのインフラをより効率的に運用する利活用によるシフトが、各会員の顧客に提案されてゆく年になることと思えます。

ITを中心に「所有から利用へ」顧客のニーズはシフトしており、それに応えるべく通信事業者、ハードウェアベンダー、システムインテグレーター、ソフトウェアベンダー、海外情報系企業はこぞってSaaS（サース）、Cloud（クラウド）サービスへ移行しつつあり、情報通信業界のパラダイムシフト元年ともいわれており、かなりの変化が予想されます。

益々激しい技術変化は当分の間続くことが予想され、「教育の充実」が今後も不可欠となってまいります。インフラを中心とした技術として、当協会の研修で実施している、L2、L3スイッチング設定を、実機を用いて行うコース「情報ネットワークプランナー（マスター）」で、インターネットまで範囲を広めより充実した教育を、昨年より実施しております。

又、LAN認定制度がスタートし2年目を迎え、より会員に利活用されることを願っております。そして、恒例となっております情報通信機材展が、総務省の情報通信月間行事として今年5月に開催を予定しておりますので、是非、足を運んで頂きますようお願い申し上げます。

各会員企業が継続・発展し、従業員の皆さんが明るく元気になってゆくため、今後益々熾烈になる他業界との競争を乗り切っていくため、通信インフラで培ったノウハウを十二分に生かし、顧客へ固定通信網、移動通信網、PCの利活用提案を、「知恵の結集と連携」で行うことが重要と思えます。

皆さんと手を取り合い協働し魅力ある協会にしてゆくため みなさんのご協力と知恵をお貸しいただくことをお願いし、新年の挨拶とさせていただきます。

おわり